

12. 竹迫日吉神社 たかば ひ よし じん じゃ

指定年月日 S 63. 7. 26
所在地 合志町大字豊岡・原口



竹迫日吉神社は豊岡の原口にあり、沿革は竹迫直種家伝に「肥後国合志郡竹迫村内原口村日吉上七社大明神は正治2年（1200）3月15日竹迫氏の先祖攝津守中原師員の草創」とあるので今から約800年前に建立されたことになる。境内は種々の老木に覆われて神域は荘厳で、開基以来幾多の変遷を経て今日に至っている。

神社は竹迫近郷の氏神として尊崇されている。現存する社殿は宝永年間（1704～1711）に再建されたものと伝えられ、楼門は建築技術や彫刻などの様式から安土桃山時代の造りと推定される。平成3年（1991）と同11年（1999）の大型台風により甚大な被害を受けその後修復、平成12年（2000）には開基800年に当り銅板により拝殿と楼門の屋根の葺替えが行なわれた。拝殿の絵馬は天保、嘉永、慶応年間に描かれたものである。

祭神は大山咋神他六神と阿蘇神社の主神である建磐竜命が配神されている。

（祭日）大祭 11月19日
初祭 1月19日
春祭 4月8日
大祓 6月30日

13. 今町座組 いままち ざ ぐみ
阿弥陀如来像 あ み だ に よ ら い ぞ う

指定年月日 H元. 3. 22
所在地 合志町大字幾久富・今町



今町集落に伝わっている阿弥陀如来像の由来は、九州大学菊竹淳一助教授の鑑定によると、中国の影響を受けた高麗時代（915～1392）後期の作で渡来仏とのことである。銅製で中は空洞になっている。また肥満気味のものが多いこの時代としては珍しく細身で背筋が伸びている。もともとは日頭山金福寺にあったが、明治元年（1868）の神仏分離令（廃仏毀釈）で住職がいなくなり廃寺になったため、それ以後、今町座組で管理するようになった貴重な仏像である。座は四組あり、一年間の順番制になっている。祭礼日は仏像を安置して、仏の慈悲に感謝して小宴が催されている。

なお、この仏像の複製は町の歴史資料館に展示してある。